

# みんなの市議会

定例会概要	1・2
一般質問	3・4
委員会報告	4~9
伊達市議会議員選挙区条例検討特別委員会	9
所管事務調査報告	10
行政視察報告	11・12
他団体会議報告	13
全員協議会	14
議員研修会・編集後記 ほか	15

## 「前例踏襲から脱却」を目指す 総額 312 億 6,898 万円の 平成28年度予算成立

### 第82号 2016.5.1

一般会計……………189億 4,970万円  
 特別会計(6会計)…113億 3,609万円  
 水道事業会計…………… 9億 8,319万円

### 伊達の歌碑を尋ねて 第四弾



桜小路の歌碑 (太陽の園に向かって右側の鉄塔の付近)

内浦湾を一望できる小高い丘の上にあります。「うす山桜」の「うす」は「有珠」と「薄」にかけた言葉で、「わが主、邦成公のお住まいが建てば移住者にとって喜びはひとしおであり、薄桃色の山桜もすぐその時から、こととぎの色香を増すことだろう」との思いがこの歌に込められています。  
 伊達高校付近から太陽の園にまっすぐのびる平坦な道がやや上りにかかる辺りからを桜小路といいます。

### 浜丁の歌碑 (錦町旧国道通り木村建設入り口前)

明治以前の漁業は、松前藩による場所請負制度は廃止され、家臣11名に漁船をもたせ漁業を行わせるようになります。そして、その人達を「魚とり人」と呼んでいました。  
 しかし、移住土族の大部分は漁業についての知識も浅く漁船を所有しても実際は旧出稼ぎ人や、番人の能力による以外になかったといわれています。



旭が岡の歌碑 (舟岡郵便局よりこれの木団地の駐車場付近)

旭が岡は、現在の舟岡町にこれの木団地の周辺をさし、移住当時は柴田船岡藩からの入植者に土地が割り当てられました。「朝の光が、残すところなく、広々とさし、登ってくる。この岡のあげぼのの景色はなんとすばらしいことだろう」と非常に眺めの良い所であったといわれています。

当時ここから東側の一帯は、海に向かってなだらかな丘陵地帯となっており、ここに立つと新しい開墾地が一望に開け、晴れた日には内浦湾の向こうの駒ヶ岳を望むことができました。しかし今は新旧の建物が建てつくされています。



# 第1回定例会概要

平成28年第1回定例会は、2月29日から3月16日までの会期17日間で行われました。議会初日に行政報告として平成28年度市政執行方針及び平成28年度教育行政執行方針が示され、続いて市長提出20議案および平成27年度一般・特別会計・水道事業会計補正予算7議案、平成28年度一般・特別会計・水道事業会計予算8議案の全35議案が上程され、審査の結果いずれも原案のとおり可決されました。

- \* 総務文教常任委員会に付託した議案(詳しくは4～6ページ)
- \* 産業民生常任委員会に付託した議案(詳しくは6ページ)
- \* 予算決算常任委員会に付託した議案(詳しくは1・2、7～9ページ)

## ■平成27年度一般会計補正予算

平成27年度歳入歳出予算の総額からそれぞれ**4億2,584万7千円**減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ**179億4,917万7千円**とするもので、補正の主な事業概要は下記のとおりです。

事業名	予算増減額	事業概要
西いぶり広域連合負担金	4,120万4千円	ホタテ貝養殖における水産雑物の大量発生による処理費用の増額。
ネットワーク等強靱化事業	7,244万3千円	新たな自治体情報セキュリティ対策。
自立支援給付費	9,500万円	サービス利用者の増加に伴う扶助費の増額。
障害児通所給付費	500万円	新規利用者の増加による扶助費の増額。
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業	1億7,100万円	消費税率の引上げに伴う低所得高齢者の負担緩和を目的とした給付措置。
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事務費	1,462万2千円	給付金給付事務に伴う事務費。
道営有珠山麓地区畑地帯総合整備事業負担金	1,287万9千円	道営事業における用排水路及び農道整備に係る経費の一部負担分。
水産雑物処理事業補助金	708万3千円	水産雑物の処理費用増大に伴う事業実施主体への一部補助。
西通り線及び旭ヶ岡線道路整備事業	△1億4,475万3千円	社会資本整備総合交付金の減額による減額補正。
橋梁長寿命化修繕事業	△761万円	
竹原通外1街路整備事業	△2億446万3千円	

■平成27年度特別会計補正予算

- 平成27年度 国民健康保険特別会計補正予算……………1,808万1千円(減額補正)
- 平成27年度 下水道特別会計補正予算……………9,415万円(減額補正)
- 平成27年度 介護保険特別会計補正予算……………13万1千円(減額補正)
- 平成27年度 霊園特別会計補正予算……………72万9千円(減額補正)
- 平成27年度 簡易水道特別会計補正予算……………12万2千円(減額補正)
- 平成27年度 水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出については

収入の……………5,559万6千円(増額補正)  
 支出の……………2,656万5千円(減額補正)

資本的収入及び支出については

収入の……………281万2千円(減額補正)  
 支出の……………1,837万5千円(減額補正)

※上記特別会計補正予算は、主に年度末事業確定による減額補正です。

■意見書

今定例会に提出依頼があった意見書は7件で、審査の結果、以下のとおり意見書5件が、国の関係機関へ提出することになりました。各意見書の内容については伊達市議会ホームページをご参照ください。

結果	件名	提出依頼者	新政クラブ	会派創生	市民クラブ	公明党	青雲
×	安法法制廃止、立憲主義回復を求める意見書	日本共産党 伊達市委員会	×	×	×	×	○
×	2017年4月の消費税10%への増税中止を求める意見書		×	×	×	×	×
○	貸切バス事業への「規制緩和」見直しと運転手の労働条件改善を求める意見書		×	○	○	○	○
○	「介護報酬の再改定」を求める意見書		○	○	○	○	○
○	TPPの影響に関する国民の不安を払拭し、対策の確実な実行を求める意見書	公明党 伊達支部	○	○	○	○	×
○	児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書		○	○	○	○	○
○	地方公会計の整備促進に係る意見書		○	○	○	○	○

【解説】

各団体から提出された意見書は会派ごとに審査を行い、定例会中に議会運営委員会を開催して協議し、3分の2以上の会派の同意により意見書案として定例会に提出するかどうかを判断します。

定例会に提出された意見書案が過半数の賛成により議決されると伊達市議会の機関意志として国の各機関に意見書を提出することになります。よって、どこの政党や団体から出されようと議決された意見書は伊達市議会の意思ということになります。

提出先の国の機関とは、内閣総理大臣、衆参議院議長や各担当大臣など、かかるテーマに合わせて提出者の意志が反映されます。





がん対策を推進している保健センター

**問** がん対策の具体的な取り組みについて問う。

辻浦 義浩 議員  
新政クラブ

平成28年 第1回定例会

# 一般質問

3月4日(金)

(質問・答弁は質問者本人がまとめたものです)



**答** 本年6月に「肺がん」についての講演会を開催するとともに、学校との連携による出前講座などを実施する。また、各種がん検診の受診率の向上策として、対象者への意向調査を実施する。

**問** 地域包括支援体制の充実について問う。

**答** 地域包括ケアを担う関係機関・団体等を構成員とした「在宅医療・介護連携推進協議会」及び「生活支援体制協議会」を設置し、現状の共通理解や地域の課題の抽出、対応策の検討を行い、相互の連携に取り組む。

**問** 小学校の統合を今後どのような内容で進めていくのか問う。

**答** 伊達市立小中学校適正配置基本方針等に基づき、統合基準児童数に達する前の統合も見

据えながら、子どもたちの教育環境をより良いものにすることを第一に、保護者や地域との意見交換を進めていく。

小久保重孝 議員  
青雲

**問** 道道南黄金長和線整備進捗状況と歩行者の安全対策について問う。

**答** 山下町から館山下町の700メートルについては平成27年度から用地買収を進めており、平成29年度完成を目指している。安全対策は学校や地域自治会の取り組みに頼らざるを得ない。早期完成を要望していく。

**問** 図書館の今後について市長はどう考えているのか問う。

**答** 合併後真っ先に図書館の建て替えをすべきだった。厳しい状況だがあきらめず可能性を見

い出したい。  
●その他の質問  
・まちづくりとボランティアについて



新しい建物が望まれている伊達市図書館

吉野 英雄 議員  
無会派

**問** 生涯活躍のまち日本版CCRC構想の概要及び財政支援について問う。

**答** 地域再生計画の認定を受けると地方創生推進交付金が継続的に交付され安定的な事業が可能となる。国は28年度1千億円を創設、先駆的な取り組みを支援するとしている。

**問** 消費者基本法に規定する市の施策の実情及び特殊詐欺など複雑化する犯罪に対して市内53地区で設置されている消費者犯罪被害ネットワークの設置の考えを問う。

**答** 消費相談員を1名配置、道立消費者センターと連携し問題解決を図っている。伊達警察署、消費者協会と市の3者連絡会で情報共有を図り対応していく。



**問** 4月1日施行の障害者差別解消法への対応について問う。

**答** 今年度末までに道が作成する「対応マニュアル」により職員への

徹底を図る。障がいに関する正しい知識、理解を深めるための市民への周知を図っていく。

渡辺 雅子 議員

公明党

問 保育所待機児童

について現在登録されている2歳未満の待機児童の人数は21名だが、あきらめて登録せず悩んでいる方も多くいるなか、今後本市としての考えを問う。

答 3歳未満児専用保育所である、「ひまわり保育所」の増員・建て替えを早急に考えており土地が確保されれば直ぐにでも着工を考えている。

保育士の人数についても現場の声を聞きながら考えていく。

問 北舟岡駅の道道

から駅舎までの急勾配の市道と駐輪場について問う。

答 現在の北舟岡駅広場全体を盛り土による崇上げを行い、駐車場、待合所、駐輪場を配置する計画であり、本年度は一部工事を行う予定。

本事業完成後は勾配が緩和され駅利用者の利便性の向上が図られると考えている。更に雨や雪も防げるように、屋根付き駐輪場となる。



北舟岡駅駐輪場と駅舎に向かう急勾配の道路

洞口 雅章 議員

青雲

問 空き家調査結果

と空き家を活かした移住促進策、また、昨秋に立ち上げた空き家バンクの現状を問う。

答 五一〇件の空き家が確認された。空き家をリフォームして売却・賃貸する場合は補助等を検討し空き家バンク登録を勧め、アパートの空き室も調査し活用策を探る。

空き家バンクのアクセス数は、月に千から千五〇〇件ある。

市内に配布されている空き家バンクすみがパンフレット



問 市のホームページのコンテンツ検査の容易さの検証や、フェイスブックに伊達の歴史や公募したビューポイント写真の活用が有効と思うが対応を問う。

答 インターネットの活用に関し全庁的に取り組みを再検討し、フェイスブック運用に関し提案された内容を検討していく。

案された内容を検討していく。

問 飲食店店舗改装事業は補助金申請がなかったと聞いているが、中心市街地活性化策の今後の展開を問う。

答 補助を受ける側もそれなりの負担があり、今の経済状況では難しかった。今後は商店会や商工会議所から新たな要望があれば協議をしていく。



# 委員会報告

総務文教  
常任委員会

委員長

菊地清一郎

「伊達市過疎地域自立促進市町村計画について」

「過疎地域自立促進特別措置法」の一部が改正され、その失効期限が5年間延長されたことに伴い、平成28年4月1日から平成33年3月31日までを計画期間とする、新たな「過疎地域自立促進市町村計画」を策定することについて、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑▼本計画の人口推計の策定にあたって使用したのは、国の方針を元にしたデータなのか。

答弁▼本計画の人口推計の策定については、平成

22年度に行われた国勢調査の結果をベースとして策定した。

■「新市建設計画の変更について」

「東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律」の改正により、新市建設計画に基づく合併特例債の発行期間が5年間延長されたことに伴い、計画期間を平成32年度末まで延長し、その内容を変更することについて「市町村の合併の特例に関する法律」の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

■「室蘭市との間において定住自立圏形成協定の一部を変更することについて」

平成22年9月に室蘭市との間において締結した「定住自立圏形成協定」の一部を変更するため、「伊達市定住自立圏形成協定

の議決に関する条例」の規定により、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、

質疑▼共生ビジョン懇談会とあるが、ここで議論されたことがこの計画に反映されているか。

答弁▼共生ビジョン懇談会での協議内容については、参考意見として共生ビジョンに反映されている。

■「伊達市職員の退職管理に関する条例」

「地方公務員法」の改正に伴い、退職管理制度が設けられたことから、本市においても退職者の適正な管理を図るため、条例の制定を行うことについて、議会の議決を求めるもの。

■「伊達市行政不服及び情報公開・個人情報保護審査会及び行政不服審査に関する条例」

「行政不服審査法」の改正に伴い、「伊達市情報公開・個人情報保護審査会」

を改組するなど所要の規定をすることについて、議会の議決を求めるもの。

■「伊達市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例」

「行政不服審査法」及び「同法施行令」の改正に伴い、所要の条例改正することについて、議会の議決を求めるもの。

■「伊達市情報公開条例及び伊達市個人情報保護条例の一部を改正する条例」

「行政不服審査法」等の改正に伴い、「伊達市情報公開条例」及び「伊達市個人情報保護条例」にかかる不服審査の規定について、所要の条例改正を行うことについて、議会の議決を求めるもの。

■「伊達市行政手続条例の一部を改正する条例」

「行政手続法」の改正に伴い、行政指導や処分に係る規定を追加するため所要の条例改正を行うことについて、議会の議決を求めるもの。

■「伊達市事務分掌条例の一部を改正する条例」

平成28年4月1日付けの市の組織機構の見直しによる市民部の廃止及び健康福祉部の新設に伴い、同部と総務部の事務分掌を改正することについて、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、  
質疑▼市民部がなくなることにより、該当部長にかかる負担はどうなるのか。

答弁▼一本化されることにより、連携が取れるようになり、影響はないと思われる。

■「伊達市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」

「学校教育法」の改正に伴い、所要の条例改正を行うことについて、議会の議決を求めるもの。

■「伊達市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例」

「地方公務員法」及び「行政不服審査法」の改正に伴い、報告事項の規定を改めるなど、所要の条例改正を行うことについて、議会の議決を求めるもの。

■「議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例」

■「伊達市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例」  
■「伊達市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」

官民格差に基づく給与水準の改定等を行うため、平成27年8月6日付で人事院から出された国家公

務員の給与に関する勧告について、政府が勧告どおりの実施を閣議決定し、「一般職の職員の給与に関する法律」が改正されたことから、本市においても、国に準じた給与決定の原則に基づき、所要の条例改正を行うもの。

また、「地方公務員法」の改正により、人事評価制度を導入することに伴い、所要の条例改正を行うことについて、議会の議決を求めるもの。

■「議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例」

「地方公務員災害補償法施行令」の改正に伴い、所要の条例改正を行うことについて、議会の議決を求めるもの。

■「大滝国際交流ゲストハウス条例を廃止する条例」

「公の施設」としての「ゲストハウス」を廃止し、国際交流職員の住宅として管理するため、同施設の設置条例を廃止することについて、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、**質疑**▼これからは、国際交流職員の住居として使用することなのか。

**答弁**▼施設全てが国際交流職員の住居という扱いとなるが、今までどおり市民の方も利用できることとする。

以上、付託された16案件は、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定いたしました。



産業民生  
常任委員会  
委員長  
小久保重孝

■「伊達市看護師等修学資金貸付条例について」

市内の医療機関等で看護師等の業務に従事する意思のある方を対象に、看護学校等の修学資金の貸付と返還の免除に関する規定を設けることにより、市内における看護師等の確保及び質の向上に資するため、条例を制定するもの。

審査の中では、**質疑**▼この制度の周知の方法はどのように考えているのか。

**答弁**▼若い方の利用が多いと思われるため、ホームページやフェイスブックを中心に周知することを考えている。

**質疑**▼准看護師の資格取得の際にこの制度を利用し、数年後に正看護師の資格取得の際に再度この制度を利用することは可能か。

**答弁**▼当初は想定していなかったが、制度の趣旨からすれば可能である。などの質疑がなされました。

■「伊達市営住宅敷金基金条例について」

現在「歳入歳出外現金」として管理している市営住宅等の敷金について、确实かつ効率的に運用管理するため、市営住宅敷金の基金設置条例を制定するもの。

**質疑**▼この基金の財源となる現在預かっている敷金の現金残高はどのくらいあるのか。

**答弁**▼平成28年3月8日現在でお預かりしている敷金残高は4755万9660円となっている。

**質疑**▼現在住んでいる市営住宅から別の市営住宅へ移動した場合の敷金の取り扱いはどうなっているのか。

**答弁**▼現在の敷金と移動後の敷金の差額は徴収している。などの質疑がなされました。

■「伊達市国民健康保険条例の一部を改正する条例について」

「国民健康保険法施行規則」の改正に伴い、国民健康保険税の減免の届出に必要な事項を規定するため、所要の条例改正を行うもの。

■「伊達市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について」

「地方公営企業法」の規定に基づき、水道事業の「剰余金の処分」に係る必要事項並びに「利益の処分」及び「資本金への組入れ」について新たに規定するため、所要の条例改正を行うもの。

質疑はありませんでした。以上、付託された4案件は、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定いたしました。





### 主な事業について

■「伊達はつらつ元気 塾事業」  
417万円

■「大滝区定住促進住宅整備事業」  
2億7279万円

事業者の増（昨年度比較で約2倍）と新規利用者の増（発達障害等）及び認知度の高さから、専門的な教育や指導にかかることが増えたため増額する。

や生活支援等を実施する伊達市農業協同組合に対し、事業費の一部を補助するとともに、研修生に賃貸住宅費用の一部を補助する。

予算決算常任委員会は3月10日から3月14日までの3日間、平成28年度伊達市予算（一般会計・6特別会計・水道事業会計の8案件）が審議され、付託された8案件は、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」として決定いたしました。

平成28年度の一般会計予算は前年度当初予算と比較して約13億8400万円増額の約189億4900万円となりました。また、特別会計6会計の合計は前年度当初予算と比較して、約1300万円減額の約113億3600万円となりました。水道事業会計は前年度当初予算と比較して、約7300万円減額の約9億8300万円となりました。

■「やまびこ児童クラブ増築事業」  
2015万円

■「子どものための教育・保育給付費負担金」  
3億1696万円

■「新規就農者受入推進事業」  
460万円

■「地域循環型ポイントカード運営事業補助金」  
460万円

平成27年度からの制度改正により、児童クラブの対象児童が小学6年生まで拡大されたため、既存のやまびこ児童クラブの建物を増築し、最終的な利用児童数を110名程度とする。

国の制度の変更により、市が負担することになった費用。財源として国及び北海道からの負担金を活用する。

就農に意欲のある者の誘致活動を実施するため、合同説明会、新・農業人フェア（札幌と東京）への出展する。

商工観光課が事務局となり実施する。地域全体の活性化を推進するため、市の施設（現在は保健センター、観光物産館、総合体育館、温水プール・トレーニング室）で共通で使用するポイントカード事業を実施する。

これにより、平成28年度当初には待機児童を出さ

■「障害児通所給付費」  
4878万円

また、新規就農を目指す研修生の生産技術の指導



解説

# 平成28年度予算のポイント

～合併後最大となった

一般会計予算 189 億円!!～



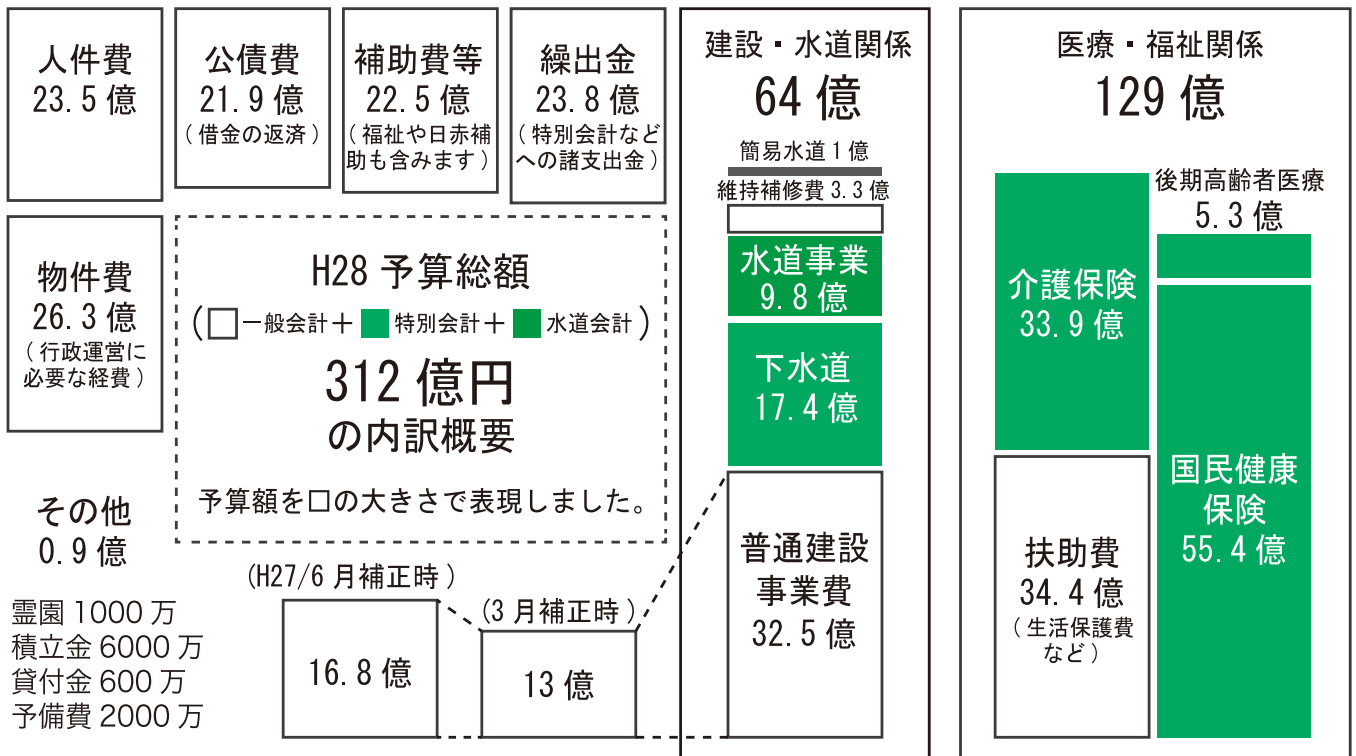
前年度（当初＋6月補正）比で12億円増額となり合併後最大の予算は、（仮称）総合文化館と駅自由通路の建設が本格的にはじまることや遅れている道路工事等の予算が重なったことが要因です。これにより、普通建設事業費は前年度（6月補正後）と比較して約2倍となりました。

特に土木費については国の予算の影響を受けて事業が遅れ、この3月議会で3.8億円の減額補正となり、このしわ寄せが新年度の事業費を大きくしたという面もあります。また建設資材の高騰や人材不足の中での人件費高騰が建設費全体を押し上げているという側面もあります。

これにより「新たな借金は、その年の元金返済額の75%に抑える」としたルールは守れないこ

ととなりました。議会的にはこのルールを守れないことは指摘すべきところではありますが、駅自由通路や安心安全のための道路など議会が要望してきた事業も多く、国の政策予算と貯めてきた基金をうまく使いながらも何とか早く事業を進めてほしいという思いの中での質疑となりました。

深刻なのはこの建設関係費（64億）の2倍に上る医療福祉関係費129億円です。全体予算（312億円）の40%を越える割合となっており、補助費なども含むと割合は高くなります。なお市の財政状況は他市と比較して概ね好調で、不確定要素は国からの予算です。国の政策への懸念を感じながらも、条件の良い事業に手を挙げていくという姿勢は続きます。



一般会計 **189** 億円 平成28年度予算総額 **312** 億円

《予算概要（新規事業の中から抜粋）》

伊達市内映像製作事業	200 万円	堆肥センター維持管理費 フルイ機更新工事	2,775 万 9 千円
伊達市まち・ひと・しごと 創生有識者会議経費	40 万 3 千円	生ゴミ回収車購入	758 万 1 千円
第七次伊達市総合計画策定経費	26 万 1 千円	円山地熱水供給施設維持 管理費源泉ポンプ更新工事	3,621 万 2 千円
「生涯活躍のまち」構想推進事業	9 万 2 千円	アイヌ農林漁業対策事業補助金	2,392 万円
市民活動センター維持管理費	888 万 7 千円	地域循環型ポイントカード 運営事業補助金	460 万円
自治会館建設費補助金	100 万円	地場産品プロモーション事業	160 万 7 千円
黄金地区コミュニティーセンター 外壁等改修工事	671 万 6 千円	地場産品研究・開発事業等助成金	50 万円
参議院議員選挙執行経費	1,985 万 5 千円	西萩原通り線道路整備事業	4,300 万円
やまびこ児童クラブ増築事業	2,015 万 8 千円	舗装修繕事業	3,800 万円
地域子育て支援拠点施設 運営管理委託料	1,556 万 2 千円	橋梁点検事業	2,400 万円
子どものための教育 ・保育給付費負担金 3 億	1,696 万 1 千円	空き家等対策推進事業	28 万 6 千円
民間児童館改修費等補助金	3,326 万 7 千円	大滝区定住促進 住宅整備事業	2 億 7,279 万円
伊達はつらつ元気塾事業	417 万 4 千円	防災監視装置整備事業	2,208 万 4 千円
老人福祉施設 危険区域外移転促進補助金	2,540 万円	レイクカウチン中学生派遣事業	752 万 6 千円
伊達市看護師等修学資金貸付金	352 万円	伊達市開拓物語作成事業	172 万 9 千円
日本脳炎ワクチン接種料	2,674 万 9 千円	スポーツ施設 運営管理委託料 1 億	2,800 万円
新規就農者受入推進事業	460 万 3 千円	在宅医療・介護連携推進事業	44 万 6 千円
農作業等軽労化研究事業	65 万円	生活支援体制整備事業	63 万 6 千円
伊達野菜ブランド化推進事業補助金	736 万 2 千円		



## 伊達市議会議員選挙区条例検討特別委員会

(委員長 国本一夫)

3月16日に第二回目の委員会が開かれ、委員長から今後の進め方について委員に対して意見が求められました。意見の中では、「パブリックコメントのような手法で大滝区住民から意見を募るという方法もあるが、議員一人ひとりの意見が異なる中でコメントを募ったとしても、その個々の意見に対して誰が答えるかを含めて十分に答えることは難しいのではないか」という意見や「議会での議論を進め、どこかの時点で地域協議会や連合自治会との意見交換を行えたら、地域の皆さんの声を聞くことができるので検討すべきではないか」という意見などが出されました。

この日の結論として、伊達市と大滝村との合併時に議員でなかった議員も多いため、10年前の合併協議会から現在までの経緯を確認するための資料を事務局で整理して配布することが決まり、その内容を各自確認した上で、次の委員会に臨むこととなりました。

# 常任委員会 所管事務調査報告

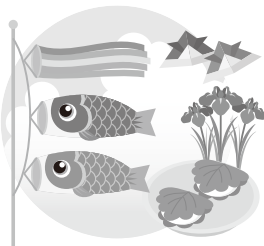
## 総務文教常任委員会

委員長 菊地清一郎

《1月19日(火)》

◆「(仮称)総合文化館の設計案等」について

平成30年オープン(の(仮称)総合文化館の配置計画や展示計画の基本方針、交流ゾーンの活用方法等)についての説明を求め、調査を行いました。



《2月2日(火)》

◆「NPO法人伊達メセナ協会」との意見交換会

「NPO法人伊達メセナ協会の自主事業について及び施設管理業務について」というテーマを設け、各自主事業や施設管理の状況等について意見交換を行いました。

## 産業民生常任委員会

委員長 小久保重孝

《1月22日(金)》

◆「廃棄物処理とリサイクルの現状」について

市環境衛生課からごみ排出量や再生資源物の回収量の推移及びその経費等について説明を求め、その現状について調査を行いました。

《2月10日(水)》

◆「伊達赤十字病院」との意見交換会

委員全員で伊達赤十字病院へ出向き、院長はじめ経営陣から経営状況や現在取り組んでいる活動について説明を受け、意見交換を行いました。

《3月9日(水)》

◆「伊達市観光物産館と市内商工業及び雇用状況」について

市商工観光課から伊達市観光物産館の状況や市内商工業の推移、雇用状況について説明を求め、調査を行いました。

◆「伊達市立つつじ保育所民営化計画(案)」について

ました。

◆「伊達市看護師等修学資金貸付制度の創設」について

市民部及び市保健センターから看護師等に係わる修学資金貸付制度創設の概要等について説明を求め調査を行いました。

市児童家庭課から公立保育所の民営化への取り組み状況や保育所の現状と課題等について説明を求め調査を行いました。



### 「(仮称)総合文化館の設計案等」の調査内容について

#### クローズアップ



配置計画は、旧シャミチセ川側の駐車場や宮尾登美子文学記念館からのアクセスがしやすいように、出入り口を2か所とし、歴史の杜を散策するように各施設の繋がりを持たせ、屋内・屋外・他施設が一連の学習体験ができる

ような計画である。

また、交流ゾーンは市民が様々な教育普及活動に参加できる空間とし「体験・レクチャーコーナー」などがあり、市民だけではなく修学旅行などの団体も受け入れる計画である。

今後の検討事項として、現在の駐車場は週末になると満車になることが多く、駐車場対策が求められること、修学旅行等団体への誘致活動の効果的なあり方が挙げられた。

# 平成27年度 行政視察報告

## 青雲

### ◎参加者

洞口雅章、小久保重孝

### ◎期間

平成28年2月4日(木)  
～6日(土)

### ◎調査場所・目的

#### ○神奈川県海老名市

#### ★図書館の指定管理について

通称「ツタヤ図書館」と呼ばれる海老名市立中央図書館を視察した。同図書館は平成27年10月に、

約10億円の改装費と新たな指定管理によって再スタートをした。利用者はこれまで2倍以上となり、市民満足度も極めて高い。売物と貸出図書の間隔がないのが特徴で、600種類ある雑誌は全て売物ということだったが、その全てを図書館内では自由に閲覧できる。そのため売上げは伸びないが、以前は足を運ぶことがなかった市民が多く訪れるようになった。

貸出、返却も簡単で、回転寿司屋の会計システムと同様、本に付けられたICタグを読み取るだけなので、瞬時に内容がデータベースと照合され記録さ

れていく。  
指定管理会社の方は「本の売れ行きは雑誌も含め低調だが地方においては大店舗本屋でも売れ行きが伸び悩んでいる。こうした取り組みで、集客を図り、新ビジネスを確立していきたい」と意欲的だった。



図書貸出セルフカウンター ここに図書をかざすだけで貸出処理ができる。

※その他の視察先

#### ○東京・千代田区立千代田図書館

#### ○東京・地方議員研修会（講師 樋渡啓祐氏）への参加



## 新政クラブ

### ◎参加者

寺島 徹、吉村俊幸  
辻浦義浩、犬塚貴敬  
田中秀幸、佐藤匡則

### ◎期間

平成28年2月15日(月)  
～16日(火)

### ◎調査場所・目的

#### ○北海道三笠市

#### ★三笠市コミュニティスクール

コミュニティスクール開始のタイミングで学校の大幅な統合があり、導入には市民の目線からも協力的でスムーズであった。

ボランティア数は現在128人の登録があり、高校生のボランティアも少なからずいるとのこと。幅広い年代の協力をいただいている。

学校側の専従は置いていないが、教頭が窓口となり調整や受け入れを担当

しているとのこと。  
この制度導入にあたって学校側の負担は増加したと思われるが、まちが一体となって学校を盛り上げるといった意識が根付いている。

統合で学校の範囲が広くなり、人のつながりが希薄化しかけたところでのコミュニティスクール導入だった。

ボランティアが学校を支えるという意識の統一が図られている。

人事や予算など、コミュニティスクール側からの批判的な意見よりも、例えば、野球の指導者がほしい、などといった前向きな要望がほとんどであったとのこと。



三笠市教育委員会にて

と。  
伊達として三笠市と同じく、専従を置く余裕はないと思われる。

よつて教頭が窓口となるのは必然ではないだろうか。

学校側にできるだけ負担をかけずに運営するため、準備をしっかりと行う必要があると思われる。

例えば、評議員やPTA役員との連携、打ち合わせなど、情報の共有化を図ることは絶対であると思われる。

どちらかが勝手に進めるのではなく、両輪として運営していくことが大事だと思われる。

○北海道北広島市

★北広島市ユーストリームによる議会中継

専用サーバーを持たず、ライブストリーミング配信であるユーストリームを早くから導入してきた市である。

問題点として

1、ライブとはいえ30秒ほどのタイムラグがある。  
2、無料でのユーストリーム活用のため、15秒ほどのCMが入る。

3、ユーストリームで流したものの版權がユーストリーム側にあるため、再度加工などはできない。

大きくこれらの問題点があるが、カメラや、管理端末など購入したものの以外に料金が発生しないため非常に割安感がある。

質問者や答弁者の役職や名前などは、その都度、議会事務局の職員が管理端末で打ち込みをする必要がある。

ただ初期投資以外、コストが抑えられるため、メ리트は非常に大きいと思われる。



会派 創生・公明党

◎参加者

会派 創生

国本一夫、堀 博志

阿部正明、篠原一寿

公明党

原見正信、渡辺雅子

◎期間

平成28年3月29日(火)

～30日(水)

◎調査場所・目的

○北海道札幌市

★図書館の運営について  
(札幌市中央図書館)

札幌市教育委員会・中央図書館利用サービス課を訪問し、札幌市の図書館運営の実態と教育行政の企図するところを研修した。

札幌市には中央館をはじめとする各区図書館が11施設。区民センターおよび地区センター内に併設される図書室等は30施設

で計41の図書館、図書室が整備され、190万市民のニーズに対応している。

また、図書館事業の教育行政における位置づけを①仕事やくらしに関する資料・情報提供、②札幌の魅力発信、③知的空間の創出、を三つの柱として各施設間の連携を図っており、蔵書数は80万冊を超えるとの説明であった。

現在、札幌市では平成30年オープンを目標に「都心にふさわしい知的空間の創造」を目的とする札幌市図書・情報館の建設に着手している。

○北海道札幌市

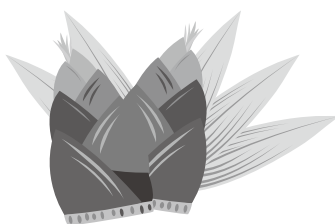
★超高齢社会

一般社団法人「シニアライフサポート協会」を訪問し代表理事並びに協会後援会長の両氏から、超高齢社会が迎えるこれからの現実及びそれらに対する高齢者の意識づけをどのよう啓発するのか、また独居高齢者への見守り声掛けなどボランティア活



シニアライフサポート協会にて

動の成功事例など交えながら座談会方式で意見交換した。



# 他団体会議



## 報告

### ◆西いぶり広域連合議会

吉村俊幸 阿部正明 寺島 徹

#### ●平成27年12月21日(月)

室蘭市議会議場において、西いぶり広域連合議会平成27年第3回臨時会が開催されました。

##### ▶付議された

- ①平成27年度西いぶり広域連合一般会計補正予算債務負担行為の設定
- ②西いぶり広域連合個人情報保護条例中一部改正の件  
の審議を行い原案可決されました。

#### ●平成28年2月10日(水)

メルトタワー21大会議室において、西いぶり広域連合議会総務常任委員会が開催されました。

##### ▶所管事務として

- ①訴訟経過について
- ②西胆振地域廃棄物広域処理施設整備検討業務委託について  
の調査を行いました。

#### ●平成28年2月19日(金)

室蘭市議会議場において、西いぶり広域連合議会平成28年第1回定例会が開催されました。

##### ▶付議された

- ①平成27年度西いぶり広域連合一般会計補正予算8,772万3千円の増額
- ②平成28年度西いぶり広域連合一般会計予算28億5,117万4千円
- ③西いぶり広域連合行政不服審査法施行条例制定の件
- ④西いぶり広域連合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び西いぶり広域連合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例中一部改正の件
- ⑤財産取得の件(情報セキュリティ対策機器)
- ⑥公平委員会委員の選任同意を求める件の審議を行い、原案可決・同意されました。

### ◆西胆振消防組合会議

国本一夫 山田 勇 田中秀幸

#### ●平成27年12月24日(木)

伊達市消防・防災センターにおいて、平成27年第2回西胆振消防組合議会臨時会が開催されました。

##### ▶平成27年度西胆振消防組一般会計補正予算について

3億7,094万円の減額

※消防救急デジタル無線・高機能消防司令センター整備工事入札減による減額。  
の審議を行い原案可決されました。

#### ●平成28年2月22日(月)

伊達市消防・防災センターにおいて、平成28年第1回西胆振消防組合議会臨時会が開催されました。

##### ▶西胆振消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

の審議を行い、原案可決されました。

#### ●平成28年2月22日(月)

伊達市消防・防災センターにおいて、西胆振消防組合議会総務常任委員会が開催されました。

##### ▶所管事務調査について

##### ①平成27年火災発生状況及び救急救助出動状況について

平成27年1月1日～12月31日までの「市町別火災発生状況」「市町別救急・救助出動状況」「医療機関別搬送人員数」などの調査を行いました。

##### ②委員の派遣について

派遣時期、派遣方面について調査を行いました。

##### ③管内の委員視察について

「消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター」「洞爺出張所」の視察調査を行いました。

##### ④消防救急デジタル無線・高機能消防指令センターの整備工事等の状況について

整備工事等の進捗状況、高機能消防指令センターの特徴などの調査を行いました。

# 全員協議会

平成28年3月8日(火)

## 管内の消防・救急活動の状況について

伊達市消防・防災センター3階 防災教育ホールにおいて、以上2点について西胆振消防組合幹部職員から説明がありました。

管内の消防・救急活動の状況については、伊達市、洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町の平成27年1月1日から12月31日の「市町別火災発生状況」、「焼損面積及び損害額」、「救急・救助出動状況」、「医療機関別搬送件数」の説明があり、火災発生状況は31件で、対前年比で6件の減、救急出動は2,381件で、対前年比33件の減との報告がありました。

## 消防救急デジタル無線・高機能消防指令センターについて

消防救急デジタル無線・高機能消防指令センターについては、総事業費2.9億円の事業内訳や指令センターの指令要員として職員6名を専従化し、西胆振消防管内の全ての119番通報等を伊達消防署の通信室で一括受理、各署所へ出動指令するなど指令センターの特徴の説明がありました。また、同日、指令センターの119番回線等が接続し運用開始、平成28年3月28日までに旧施設等を撤去完了し本運用開始となるため指令センターの視察を行いました。

平成28年3月16日(水)

## 地方創生加速化事業について

地方創生加速化事業については、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、「新・三本の矢」に貢献することを目的に地方創生加速化交付金が創設され、国の平成27年度補正予算で1,000億円が計上されたことから、本交付金の採択を目指し、地方創生加速化交付金実施計画を作成し、平成28年2月に国へ提出済みです。

提出した実施計画は、①「洞爺湖有珠山ジオパーク資源を活用した観光地づくり事業」で伊達野菜ガイドブックの作成、国内販路開拓強化、新・農業人フェア参加など、「(仮称)伊達の農業パワーアップ推進協議会」を新たに設立し、農産物の知名度アップやブランド化を推進するため、情報発信や販路拡大等の事業に取り組む、②「西いぶり生涯活躍のまち構想推進事業」は、首都圏等のアクティブシニアの移住促進による人口減少の抑制や、充実した医療介護体制の維持による安心して住み続けられるまちの実現、医療介護分野などでの雇用の場の創出による、若者や女性の人口定住を推進するため「(仮称)西いぶり生涯活躍のまち構想推進会議」を設置し、実現に向けて取り組む、③「西いぶりクラウドファンディング販路拡大事業」は、中小企業振興や新規創業者の支援、新たな雇用の創出などを支援するため、資金調達の新手法である「クラウドファンディング(CF)」を推進し、西いぶり商品のファン拡大による新たな販路開拓等を目指すため、「(仮称)西いぶりCF推進協議会」を設立し、制度の普及に取り組む、などの説明がありました。

## 平成28年度分地方税制改正に伴う条例改正(専決処分)について

地方税制改正に伴う条例改正(専決処分)については、「伊達市税条例」、「伊達市都市計画税条例」、「伊達市国民健康保険税条例」を専決処分による改正を予定しており、伊達市税条例は、農地に係る固定資産税の見直し、地方創生応援税制の創設、軽自動車税に係る特例措置の延長であり、伊達市都市計画税条例は、地方税法の改正に伴う引用条項の改正、伊達市国民健康保険税条例は、国民健康保険税の賦課限度額を、法改正に伴う法定賦課限度額と同額に引き上げるなどの説明がありました。

# 伊達市議会議員研修会

平成28年2月10日に平成27年度伊達市議会議員研修会が伊達市消防・防災センターで行われました。

伊達市議会議員のほか、室蘭市議会、壮瞥町議会からも議員が参加しました。

また、伊達市から市長、副市長、教育長、市職員が参加したほか、伊達商工会議所の職員も参加しました。

研修会では札幌大学大



学院教授の千葉博正氏に「HOPサービスの新展開について」の講演を行っていただきました。

講演では、道産食品輸出における課題やHOP（北海道国際輸送プラットフォーム）の仕組み等についてお話をいただきました。



## お詫び申し上げます

前号(第81号)の浜丁の歌碑は清住丁の歌碑の間違いでした。

ご迷惑をおかけし大変申し訳ありませんでした。今号では浜丁の歌碑を再掲載させていただきます。



## お知らせ Information

### 議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、6月14日(火)から開催され、一般質問は6月20日(月)と21日(火)を予定しています。日程など詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

### 会議録の検索をご利用ください

議会のホームページから『会議録検索システム』がご利用いただけます。新聞報道などではわからない実際の議論を検索できます。

ホームページは <http://www.city.date.hokkaido.jp/gikai/index.html>

## 編集後記

春の暖かな日差しが待ち遠しく感じられることに、冬の厳寒を耐え抜いた桜の花も今か今かと開花の時期を待っている。伊達市議会も第1回定例会が開催され、平成28年度予算や4月より新たに始まる看護師等修学資金貸付条例制定など議案35件を可決。

さて、3月26日には、多くの人たちの“夢”と期待を乗せて走り出した北海道新幹線、今後は開業効果をより広く波及させ、地方創生につながる取り組みが、本市においてもしっかりと考えていかねばならない。そして、いよいよ今年夏の参議院選挙から選挙権年齢引き下げ、「18歳選挙権」が始まる。全国高校生代表による「未来会議」や胆振管内では、選挙啓発高校生出前講座が行われている。

しかし投票への関心は高まっても政治や社会問題について関心を持ち、一票を投じる責任をしっかりと考えられるよう、今後より一層、学校教育現場が重要視されてくる。

その一端として、3ヶ月に一度発行される市議会だよりを家族や、父母、友人との会話の中で、伊達市の情勢や政治の話が話題となる時、18歳以上の方にもしっかりと読んでいただき、政治への関心や興味をいただけるよう今後とも委員一同一丸となり解りやすく丁寧にお伝えしていきます。

(渡辺 雅子)

## 広報常任委員会 (8人)

- |     |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|
| 委員長 | 阿戸 孝之 | 副委員長  | 佐藤 匡則 |
| 委員  | 小久保重孝 | 渡辺 雅子 | 田中 秀幸 |
|     |       | 山田 勇  | 堀 博志  |
|     |       | 阿部 正明 |       |

発行／北海道伊達市議会 編集／広報常任委員会 〒052-0024 伊達市鹿島町20番地1 TEL 0142-23-3331

FAX 0142-23-1200 E-Mail gikai@city.date.hokkaido.jp